

## 医学倫理・研究ガバナンスプログラム

時間割 コード	授業科目名	必修・ 選択	単位数	開講学期	講義日程	概要	担当教員
250520	ライフサイエンスの倫理と公共政策学	必修	2	夏	9/11(月), 12(火), 13(水) 1-5限	20世紀後半から急速に発展してきたライフサイエンスは、現在も多くの新しい分野を開拓しつつ、発展を続けている。同時に、遺伝情報やヒト細胞の取り扱いなど、研究から生まれる倫理的課題・社会的課題が生じてきている。ライフサイエンスが社会から信頼された形で進み、研究とその応用から生まれる成果が最大限に生かされるためには、社会との接点分野で生じる課題を抽出し、対応策を考える必要がある。また、本講義では、ライフサイエンスの倫理的・社会的課題にどのようなものがあり、それに対して、どのような対応がとられているかを、国際的な対応、各国での対応、研究コミュニティによる対応など、多様なレベルの具体例を紹介しながら、講義する。また、最新の技術の社会への導入に際して、市民を含む多様な観点から評価する活動であるテクノロジーアセスメントについても、理論面と具体的ケースの両方を取り上げて解説する。	加藤 和人 吉澤 剛
250551	医療倫理概論	必修	1		7/8(土), 7/15(土) 1-4限	医療倫理概論では、医療倫理の基本を学ぶ。医学の発展が社会に大きな影響を与えている中で、医療倫理は重要な課題となっている。倫理的な課題をどのように考えるかについては各自の自覚に基づくものであるが、そのための基礎的な知識や考え方を体得することを旨とする。医療倫理について、基礎的な知識を学んだ上で、遺伝診療、生殖医療、脳死・臓器移植、終末期医療といったトピックについて理解し、自ら考える練習を行う。	加藤 和人 小門 穂 浜渦 辰二 三宅 秀彦
250552	医学研究倫理・ガバナンス特論A	必修	1		8/26(土), 9/2(土) 1-4限	人を対象とした医学研究の倫理とガバナンスの基礎を学ぶ。医学分野においては、人体への侵襲や介入を伴うものから試料・情報のみを扱うものまで、目的や方法、安全性等の異なる多彩な研究が、日々進められている。それぞれの研究が、どのような倫理的視点や法的枠組みをもつのか、またそれに基づいて、研究現場がどのようなガバナンスや仕組みによって適切な研究を実現しようとしているのか。現在の日本の状況を中心に、各分野の専門家が、倫理の基礎からわかりやすく説明する。	児玉 聡 山本 洋一 岡田 潔 大橋 範子
250553	医学研究倫理・ガバナンス特論B	選択	1	冬	12/2(土) 2-5限 12/9(土) 1-4限	医師や研究者が患者や市民からインフォームド・コンセントを受けて行う従来一般の形態の医学研究に加え、特論Bではより先進的に研究推進に取り組んでいるケースを取り上げて、倫理・ガバナンスを学習する(前者は主に特論Aで学ぶ)。またこの分野の大きな潮流になっている、患者・市民が参画する臨床研究や疫学研究を取り上げる。患者や市民が研究に積極的に関与することによって、研究のデザインが改善されたり、水準が上がったりすることが知られており、様々な医学研究に多くの患者・市民の参画が望まれ始めている。しかし一方、患者や市民への直接的な利益をどう考えるかといった課題もある。これらの倫理的な課題に挑戦する日本と英国の試みについて、関係者と専門家による講義を行う。もうひとつは、ICTビジネスや健康産業が大きな関わりを持ち始めている遺伝子・ゲノム解析研究を取り上げる。少子超高齢社会に悩む日本では、医療や予防、健康に関する分野の研究が望まれており、ゲノム医療政策もその一つである。ここでは、医療関係者だけでなく、研究者や検査会社や健康機器会社など様々な企業が研究に参画し、個人の遺伝情報・ゲノム情報を取り扱うことになる。遺伝情報・ゲノム情報を取り扱う研究に関する倫理的、法的な課題のうち、特に情報保護とプライバシーをテーマに講義を行う。	加藤 和人 吉澤 剛 山本 奈津子 中山 健夫
250554	医療政策学・医学政策学	選択	1		2018/1/6(土) 3~5限 1/20(土) 3~4限 1/27(土) 3~5限	医療・医学を取り巻く環境は著しく変化しており、それとともに国の政策が果たす役割も大きく変わりつつある。そこでは資源配分や制度・規制改革に加え、研究開発戦略、産業振興、地域包括ケア、情報基盤の構築運用、安全保障、倫理的・社会的課題をめぐめる関係者や市民の意識啓発や対話促進など、「ガバナンス」と呼ばれる多様な課題への取組が求められている。それにとってもなつて、政策形成には政府の政策立案者ばかりでなく、政策提言や協働を通じて幅広い主体が関わる。そこで本授業では、医療・医学を取り巻く環境変化を踏まえたうえで、国内外の具体的な事例を取り上げながら、「政策」についての多様な概念と実践を明らかにするとともに、これからの政策や組織制度、社会文化のあり方について広く議論する。	三成 寿作 上家 和子 加藤 和人

〈注意〉開講場所は全て大阪大学医学系研究科附属最先端医療イノベーションセンター棟セミナー室Aです。  
講義日程や開講場所は諸事情により変更になる場合があります。  
最新の情報をご確認の上、受講してください。

【参考】1限 8:50 - 10:20 / 2限 10:30 - 12:00 / 3限 13:00 - 14:30  
4限 14:40 - 16:10 / 5限 16:20 - 17:50 / 6限 18:00 - 19:30

## 連絡先

大阪大学大学院医学系研究科  
医の倫理と公共政策学教室  
TEL: 06-6879-3688  
FAX: 06-6879-3681  
[info@eth.med.osaka-u.ac.jp](mailto:info@eth.med.osaka-u.ac.jp)